

地域を守る決意新たに

新春恒例の阿蘇市消防団出初式が1月11日、農科公園あびかで開催されました。

ラッパ隊の演奏に合わせて分列行進で入場。式では、団長訓示や永年勤続表彰が行われました。

阿蘇市の消防団員は総勢650人。団員一人ひとりが市民の生命・財産を守る決意を新たにしました。



道の駅阿蘇が県内1位

九州・沖縄の道の駅からJAF会員が選んで投票する「イチオシ道の駅グランプリ」で、道の駅阿蘇が県内総合1位を10回連続で獲得しました。

12月23日、市役所で表彰式があり、道の駅阿蘇を運営するNPO法人ASO田園空間博物館の山本章夫理事長に盾が手渡されました。



全国大会出場者と結果

硬式野球

JAL沖縄 第5回ルーキーズ・ベースボールカップ

くどう りゅう 工藤 龍 (阿蘇中学校1年)

ラグビー

第105回全国高等学校ラグビーフットボール大会

をの だけいご 園田 圭悟 (九州学院高等学校3年/阿蘇中出身)

パークゴルフ

第1回全国パークゴルフ大会in熊本

【団体の部】優勝

【個人の部(女子)】優勝

よこかわ のりこ 横川 憲子 (赤水)

ミクロの世界にふれて

いしいがくじょう 石井 岳 城 作品集製作委員会の代表、のむらてつや 野村 哲也さんと委員の市原久也さんが12月19日に市を訪れ、米粒や髪の毛など小さなものに絵や文字を描くミクロ工芸家、石井岳城さんの作品集「唯一無二」を市に寄贈されました。寄贈された作品集は、市内の小中学校(各1冊)および図書館(各2冊)に設置されます。



家族みんな笑顔に

12月21日、あそ四季彩駐車場で2025 ASOファミリーまつりが開催されました。

阿蘇市商工会女性部によるダンスパフォーマンスやクレヨンしんちゃんショー、親子・ファミリー民謡など様々なステージショーが行われました。また、会場には複数のキッチンカーが集合しました。



自治体が連携した地域共創社会の実現を

12月24日、阿蘇市役所で「自治体連携プラットフォーム構築事業」開始に向けた記者会見がありました。

自治体連携プラットフォーム構築事業とは、阿蘇市と八代市、高知県四万十市が中核自治体として、崇城大IoT・AIセンターと手を組み、地域の課題解決と新たな価値創造に取り組むことを目的としています。



熊本県交通安全功労者表彰伝達式

12月18日、阿蘇市役所において、熊本県交通安全功労者表彰伝達式が行われ、交通指導員の今村芳孝さん(内牧5区)に市長から賞状が伝達されました。今村さんは平成22年4月1日から現在までの15年にわたり、登下校時の街頭指導や小学校での交通安全教室に参加するなど交通事故防止や交通安全意識の高揚に尽力されました。

賞状を受け取った今村さんは「毎朝子どもたちの“おはようございます”や“いってきます”などの声を聞けることが嬉しい。今後も交通事故がないよう尽力していきたい」と意気込みを述べました。



市内の園児が快挙!

目指せ!ルーヴル第48回こども絵画コンクルの5・6歳部門で銀賞を受賞した植園日茉莉さんが1月13日、市長のもとを訪れ受賞を報告しました。

「たいせつなおもいで」をテーマに82,050作品の応募があり、特別賞・金賞・銀賞に選ばれた105作品が、3月20日から4月6日までルーヴル美術館に展示されます。



植園さんの作品「みんなとお散歩」

ま ち の わ だ い

文化財保護に貢献

熊本県文化財功労者表彰を受賞した成瀬保廣さんが12月4日、市長のもとを訪れ受賞を報告しました。

この表彰は、県内文化財の保護や活用などに顕著な功績があった個人や団体を対象としたもので、成瀬さんは長年にわたり阿蘇市文化財保護委員や阿蘇神社修理委員会などを歴任し、阿蘇市の文化財保護に貢献したことが評価されました。



社会教育に尽力

令和7年度全国社会教育委員連合表彰を受賞した松下レイ子さんが12月4日、市長のもとを訪れ受賞を報告しました。

松下さんは平成27年から10年委員として住民の奉仕者・援助者の立場に立ち、経験や知識を活かした幅広い意見を述べ、社会教育の振興に貢献されています。また、生涯学習講座講師や放課後子供教室コーディネーターを務め、本市の教育行政や生涯学習の推進、地域学校協働活動に尽力した功績が評価されました。



ベーコン入り ごぼうのポタージュ

材料 (4人分)

ごぼう…200g 玉ねぎ…1玉 ベーコン…100g
牛乳…500ml 水…200ml コンソメ…小さじ2
バター…10g 油…適量
パセリ(乾燥でも可)…適量

ごぼうは阿蘇市内の道の駅にて購入。

作り方

- 1 ごぼうをよく洗い、ささがきにし、アク抜きのため水につけておく。玉ねぎはスライス、ベーコンは短冊切りにする。
- 2 鍋にバターを溶かし、ごぼうと玉ねぎの半量を炒める。軟らかくなったら、水を加え10分煮る。
- 3 2が冷めたらミキサーにかける。
- 4 少量の油でベーコンを炒め、残りのごぼうと玉ねぎを加え炒める。
- 5 4に3を加え、牛乳を入れてよく混ぜる。
- 6 コンソメで味付けをし、薄ければ塩こしょうで調味する。
- 7 器に入れて刻みパセリ(乾燥でも可)をかけて完成。



食改冒から一言



ごぼうはよく洗い、皮を残すと風味がよくなるのでおすすめです。
パンと相性が良いです。



夢を追いかけて

夢を追いかける青少年の声を届けます —

私の将来の夢は薬剤師になることです。病院に薬をもらいに行ったとき、薬局のガラスの向こうで働いている薬剤師さんの姿がとてまかつよく見えたことがきっかけです。

病気で不安な時、薬の使い方をていねいに教えてもらえると、とても安心できます。薬は人の体を守る大切なものですが、使い方をまちがえると体に影響が出ることもあります。だから薬剤師には、正しい知識と判断力に加えて、人の気持ちに寄りそえる優しさが必要だと思います。

私もわからないことは自分で調べて理解を深め、いつか信頼される薬剤師になって、社会に貢献できるようにになりたいです。

興招 七美

こうろぎ ななみ
波野小学校・6年



アソヒト



Vol.7 三浦 裕祐さん、あゆみさん、いとさん、あおくん (三野)

阿蘇へ移住して5年。子どもたちの成長を見守りながら、2年前よりこの地で器と珈琲焙煎のお店「サンノポタリー」を営んでいます。生業である器づくり(pottery)、そして三野(さんの)地区の人々に支えられながら今があることへの感謝を込めて、この地名を屋号に掲げました。

開店から2度目の秋が過ぎた令和7年11月25日の夜、大きな地震が起きました。暗闇に響き渡る地鳴りと、瓦が崩れ落ちる音。咄嗟に子どもたちを抱えて外へ飛び出したときの、あの凍りつくような恐怖は忘れられません。目の前に広がっていたのは、地割れが走り、家の基礎が壊れ、少しずつ改修を重ねてつくったお店が傷ついた光景でした。積み上げてきた5年という月日が、一瞬にして否定されたかのような心地でした。現在は避難生活を経て、少しずつ家とお店の修復を進めています。今回の地震は被害が局地的だったこともあり、周囲に状況が伝わりにくい側面がありました。地域の人と話をするなかで感じたのは、深刻な被害を誰にも知られず、一人で孤独に苦しみを抱え込んでいる人が少なくないということです。

この記事を通して、「この地域に暮らす人の多くが、今もなお復旧の途中にいる」という現状を、少しでも知っていただけたらと願っています。そして、休業していたお店を再開させることが、同じように踏ん張っている地域の人々にとって、小さな希望や意味のあるものになればと思っています。

10年前の熊本地震、そして今回の地震。当たり前だと思っていた日常や家族との時間が、いかに尊い奇跡であるかを痛感しました。そして、大変な時期に手を差し伸べてくださった人々への御恩は、生涯忘れることのない感謝として心に刻まれています。今はただ、この地に暮らす皆さまに、一日も早く穏やかな日々が戻ることを心から願っています。



阿蘇市地域おこし協力隊
長尾 昌樹
(まちづくり課所属)



@ASOLEAN_N

